

### 【材料】

どだい  
リース土台

紙ヒモを巻きつけ、  
ボンドと水を1:1に  
混ぜ、ハケで塗る。

かいがら  
貝殻

ラッカースプレー

かざ よう せうか  
飾り用の造花

かざ よう  
飾り用のカラーピース

グルーガン

グルー



### 【作り方】



まえ  
スプレー前



スプレーあと

しんぶんし かい うえむ お  
新聞紙の上に貝を上向きに置き、  
ラッカーをスプレーします。

ラッカーをスプレーすると、  
光沢  
がでて、色が鮮やかに見えます。

ようざい きはつ  
ラッカーは、溶剤が揮発するので  
おくがい つか  
屋外で使いましょう



どだい まわ  
土台の周りに、パーツを置  
いてみて、デザインする



てばや  
グルーガンで、手早く  
土台にくっつける。



でき  
出来あがり!





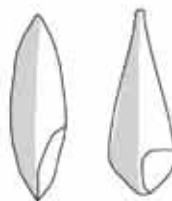
【貝の形いろいろ】



円錐形



ソロバン玉形



紡錐系・塔形



球形



錐形



かさ形



卵形



平巻形



三角形



かいわ  
アカガイの貝輪  
かいこうこ てんじゅう  
2階 考古コーナーに展示中

むぎのうらがいづか しゅつど かいわ  
麦之浦貝塚から出土した貝輪は、  
アカガイで作られたものです。



むぎのうらがいづか ちそう  
麦之浦貝塚の地層  
かいこうこ てんじゅう  
2階 考古コーナーに展示中

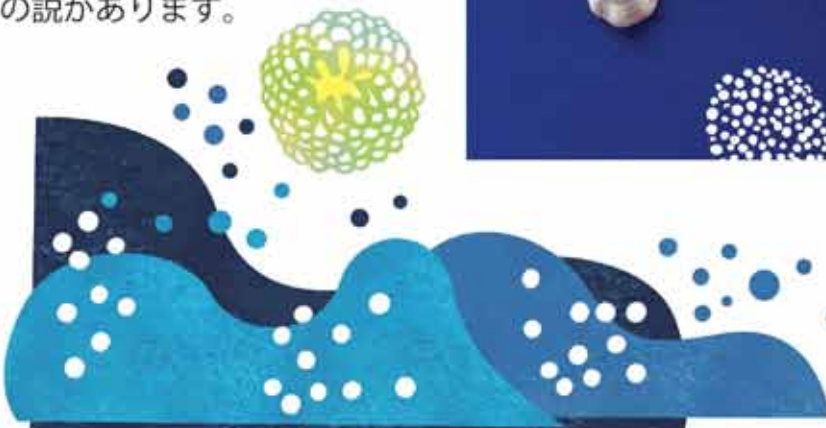
じょうもんじだい こうき ねんまえ  
縄文時代後期 (3500年前)。  
ハマグリ、アサリ、動物の骨な  
どが見つかっています。貝塚は  
呪術的な場所や食べたあとなど  
の説があります。

いちき串木野市の海岸で拾ったもの



ビーチコーミング

すなはま かいがん なが つ  
砂浜など海岸で、流れ着いたものを  
ひろ  
拾うことをビーチコーミングとい  
います。





いちき串木野市の海岸で拾ったもの



やつはしまきえらでんすずりばこ もさく  
八橋蒔絵螺鈿硯箱 (模作)  
とうかん しゅうぎょうしりょう  
当館の収蔵資料

かきつばた はな  
燕子花の花びらには、アワビ  
がい しんじゅしつ うす かこう うるし  
貝の真珠質を薄く加工し、漆  
の生地にはめ込む螺鈿の技法  
が使われています。



枕崎市の海岸で拾ったもの

シーグラス

かいがん み  
海岸などで見つかるガラス  
のかけら。割れたガラスピ  
ンの破片が、波にもまれ角  
がとれ、曇りガラスのよう  
な風合いになったもの。







ゆらい  
リースの由来

リースの起源は古く、古代ローマ時代だといわれています。リースとは、花や葉などで作られた装飾用の輪のことでローマ人はお祭りやお祝い事で冠として身に着けていました。

冠は太陽の象徴で、ローマ人にとっては特別なものでした。古代オリンピックでは、勝者に月桂樹で作られたリースが贈られ、また、葬儀の際には石棺にとりつけられることもあったようです。

その後、各地に広がると常緑樹で作られるようになり、「豊穰」「繁栄」の象徴と関連づけられ、冬至や新年のお祝いに取り入れられるようになりました。時代を経て、キリスト教では、ヒイラギを使ったリースがキリストが十字架に磔られたとき頭上にあったいばらの冠を象徴するとされ、クリスマスリースを飾るようになったという説もあります。

ちゅうい  
ビーチコーミングでの注意

砂浜では、夏は照り返して熱中症の危険性があります。必ず帽子をかぶり水分補給を適宜行いましょう。潮が満ちる時も危険です。砂の中に危険物が埋まっていることもありますので、踏まないように、また、とがったものを拾うときはケガにも注意しましょう。

